

＜参考2＞ 我が国における大規模研究計画（大型施設を除く）に関する調査

平成21年6月5日

日本学術会議 科学者委員会

学術の大型研究計画分科会

委員長 岩澤 康裕

学術の大型研究計画に関する調査

第2回：大型研究計画(大型施設は除く)について

本調査の目的

学術の大型研究計画分科会は、学術研究を推進するに当たり大型の施設あるいは大規模な基盤設備を必要とする計画、多数の研究者の長期にわたる共同を必要とする計画、膨大なデータ集積が必要な計画など、多額の経費が必要とされ、また多分野の協調や国際的協力の枠組み等が求められる学術の大型研究計画について、長期的かつ俯瞰的な視点から、我が国における企画・推進方策の在り方や、それらの方策を実現するためのシステムの構築に向けた検討を行うことを目的に、平成20年10月に科学者委員会の下に設置されました。

本分科会では、今後の検討の基礎資料とするため、現在計画中の学術研究計画の事例の収集・把握を行うことを目的に、大型の研究施設(装置、設備等を含む)を対象とした調査を実施致しました。この第一段階の調査に引き続き、今回は第二段階として、大型の研究施設等を含まない大型の研究計画についての事例の収集・把握を目的とした調査を実施致します。今回の調査対象となるのは、科学研究費補助金等では実施が困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる大型研究計画となります。

1. 調査内容の取り扱い等について

今回の調査結果は、国際対応も含め今後の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への反映等に利用するものではありません。

ただし、今後、国際的な場面(G8関係等)等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながらないように十分に配慮した上で、基本的な情報に限って利用する可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはございません。

2. 今回の調査対象

総額、数十億円以上(設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費等の経費)の大型研究計画。なお、大分野の根幹となる大型研究計画であれば、分野により必要とする予算規模は異なるので上記の総額は目安とお考え下さい。

4. 調査項目(研究計画毎(一件一様式)で作成してください。)

(1) 計画のタイトル[英文があれば併記] (2行以内程度)
(2) 計画の概要 (簡潔な目標と、主に設備、ネットワーク構築、データ集積、運営に係わる 具体計画等) (10行以内程度)
(3) 科学的な意義 (期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に) (10行以内程度)

<p>(4) 予算規模(初期投資と運営費等の細目をそれぞれ記載)と研究継続期間 (10行以内程度)</p>
<p>(5) 主な実施機関 (実施の中心となる機関名とその役割) (5行以内程度)</p>
<p>(6) 実行組織 (計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際協力・国際共同については次項) (数行以内程度)</p>

(7) 国際協力・国際共同（協力・共同の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の協力・共同の体制、その他海外動向など）

（10行以内程度）

(8) 準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、①中心メンバーによる企画段階、②研究者グループの具体的検討による企画書段階、③一定の準備資金(明記の事)を得ての技術開発等開発・準備段階、④計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（数行以内程度）

<p>(9) タイムスケジュール(いつ頃までに実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示) (数行以内程度)</p>
<p>(10) 計画における国際協力・国際共同の重要性と問題点 ((7)の記述を踏まえ、この計画における国際的な協力・共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に) (数行以内程度)</p>

(11) 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

E-mail アドレス:

※調査票送付先は<参考 1>と同じ。